

科目名	基準点測量				
担当教員	稲田 巧		実務授業の有無	○	
対象学科	環境測量科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	1年次に基準点測量Ⅰで測量器械の操作、手簿の記入、計算などを学習した。また、「公共測量作業規程の準則」の基準点測量分野についても学習した。基準点測量Ⅱでは「公共測量作業規程の準則」の続きを学習するとともに、閉合、結合トラバースの復習を行う。Y型トラバースにもチャレンジする。				
学習目標 (到達目標)	閉合、結合トラバースは理解する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	受験テキスト：日本測量協会 公共測量作業規定の準則 他プリント、資料を配布する。				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	測量士補国家試験対策授業		過去問10年間分の問題を解き解説する。最終的には、正解率70%を目指す。		
2	「公共測量作業規程の準則」基準点		1年次で学習できなかった残りの部分を学習する。		
3	閉合、結合トラバースの復習		1年次に学習した閉合、結合トラバースの復習を行う。		
4	Y型、H型のトラバース計算		Y型、H型のトラバース計算を行う。単に計算するだけでなく意味を理解する。		
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
	%	%	取組姿勢 5 %	評価テスト 95 %	測量作業の基本なので、基準点測量の良否が測量成果に大きく影響するので、よく理解してほしい。
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		測量会社にて測量業務24年			